

平成30年第3回県議会定例会での議論等について

1 平成30年9月14日 代表質問（自民党）

(1) 酒匂議員

明治維新150周年「県民の日」制定検討委員会における検討状況と今後のスケジュールについて

(2) 知事

ア 「県民の日」の期日について

- ・ 検討委員会では、「県民の日」の期日については、「明治4年7月14日の廃藩置県の日がいいのではないか」との意見が大勢を占めた。
- ・ このような意見や、本県は、県下各地域でそれぞれ個性のある多様な歴史・文化を有しておりますことを踏まえ、現在の県域を全て含んで鹿児島県が誕生した廃藩置県布告の日である7月14日が、全ての県民にこれからの鹿児島の在り方を考えていただく日となる「県民の日」の期日としてふさわしいのではないかと考えている。

イ 「県民の日」の取組について

- ・ 同委員会においては、県が「県民の日」にふさわしい取組を行うべきであり、記念式典の開催や子供たちが鹿児島の歴史や文化を学ぶ取組、県有施設の無料開放の実施などの意見が出された。
- ・ 今後、その内容を検討することとしている。

ウ 今後のスケジュールについて

- ・ 明治維新150周年の節目となる平成30年中の制定に向けて、パブリック・コメントを実施し、平成30年第4回県議会定例会で条例案を示したい。

エ まとめ

- ・ 県としては、「県民の日」を制定し、県民が、鹿児島の歴史や文化を見つめ直し、ふるさとを愛する心を育むことによりまして、自信と誇りにあふれる、より豊かな鹿児島を築き上げようという機運を高めていきたい。

2 平成30年9月20日 一般質問（自民党）

(1) 田畑議員

基本となる目的や事業及び市町村との連携について

(2) 知事

ア 目的について

- ・ 上記1(2)エのとおり

イ 事業について

- ・ 上記1(2)イのとおり

ウ 市町村との連携について

- ・ 「県民の日」は、全ての県民にこれからの鹿児島県の在り方を考えていただく日となることから、市町村にその趣旨を丁寧に説明し、「県民の日」にふさわしい取組を行っていただきたいと考えており、県としては、市町村の理解と協力が得られるよう取り組んでいきたい。

3 平成30年9月28日 総務委員会

(1) 鶴丸委員

- ・ 条例で定める理由について

→（回答） 制定県の全国16都道県のうち15都道県が条例で制定

- ・ 「県民の日」の取組について

→（回答） 「県民の日」に対する理解が深められるような事業を検討していく。

(2) 藤崎委員

- ・ 「県民の日」の期日について、廃藩置県布告日の7月14日は一般的に知られていないのではないか。

→（回答） 「県民の日（7月14日）」の制定により、県民が歴史や文化を見つめ直し、郷土に対する親しみや愛着を深める機会となるよう、広く周知を図っていきたい。